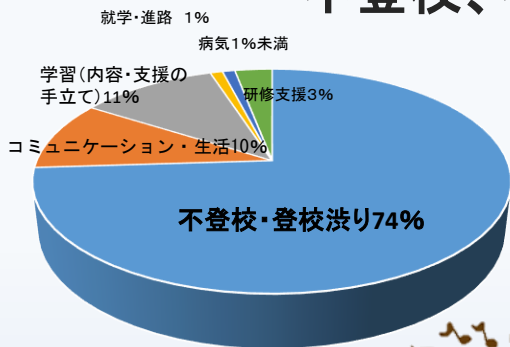


地域支援センター「サポートJOYO」



不登校、不適應への支援を中心に



本センターでは、発達障害を背景とする不登校や心理的課題に対する相談支援に力を入れてきました。相談件数の半数以上が不登校であり、そのほとんどが発達障害の二次障害です。病弱教育部をはじめとする本校の専門性を生かし、隣接する南京都病院等の医療との日常的な繋がりのもと、学校や関係機関と連携しながら、子どもや保護者の思いを大切に、より良い支援の方法を相談しています。



学校と連携して再登校につながった支援

小3から相談開始。月一回の本人・保護者への通級体験と相談を行う。本人は体を動かしながらコミュニケーション力を養うトレーニング、保護者にはペアレントトレーニングを行う。同時に、学校と連携しながら、楽しい行事への参加、特別支援学級の入級を経て、再登校できるようになる。

小5で相談開始。担任との会話で、本人が否定されていると感じ登校できなくなる。発達検査を実施し、本人の特性を両親も理解。通級指導で興味関心のあることを通して教員との信頼関係を構築し、病弱教育部の転入につながる。得意なPCの知識や算数を楽しく学び、自己肯定感を高める。中学校は支援学級(情緒)に入級し、休まず登校できるようになる。

相談、アセスメントを行い病弱教育部転入につながった支援

高校在学中から卒業後に向けて、他機関につないだ支援

小3から相談開始。通級教室、病弱教育部への転入、学校の相談室登校等を活用しながら義務教育を修了。単位制高校に進学したが、年度当初の登校が難しく、高校のレポートを持参しながら相談を継続。休みながらも3年間で単位を取得。卒業の見込みが出てきた時点で今後の居場所として、相談やジョブトレーニング等を行っている福祉事業所を本人・保護者と訪問し、今後につなげる。



「サポートJOYO」主催の研修会

不登校支援研修会 令和2年 11月実施予定
 城陽支援学校にて
 不登校事例に基づいた内容を計画しています
 助言者 有賀やよい氏
 (精神科医師、本校校医、サポートJOYO巡回相談員)
 今年度も有賀先生への質問コーナーを計画しています

お問い合わせ

〒610-0113 京都府城陽市中芦原1-4
 TEL: 0774-53-7100 FAX: 0774-53-4044
<http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

